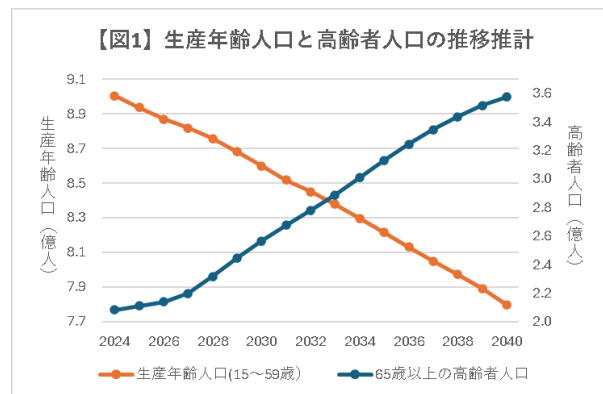


## 中国における県内養老関連企業への販路拡大支援について

上海事務所長 亀石 泰斗

### 1. 中国シルバー経済の概況

中国では、急速な少子高齢化が進行しており、15 歳から 59 歳の生産年齢人口は、図 1<sup>1</sup>のとおり 2040 年までに約 1 億 2 千万人減少すると推計されている。これに伴い、従来の商品・サービス市場では、総需要の減少による厳しい競争が予想される。一方、65 歳以上の高齢者人口は既に 2 億人に達しており、今後 2040



年にかけて毎年約 1 千万人のペースで増加するとされている。また、中国でシルバー経済（銀髪経済）と呼ばれる医療や介護関連などの高齢者向け産業の市場規模は、2024 年時点で約 13.9 兆元（約 292 兆円）に上っており、2027 年には約 21.1 兆元（約 443 兆円）に達すると見込まれている<sup>2</sup>。

中国の介護保険制度の整備はなお途上であり、2024 年末時点で介護保険が試行されているのは 49 都市にとどまる。しかしながら、中国政府はシルバー経済振興に力を入れており、2024 年 12 月には「2035 年までにすべての高齢者が基本的な介護等のサービスを楽しむことができる体系を整備する」という意欲的な目標と、外資系企業の参入を歓迎する方針が示された。その後、2025 年 7 月には訪問・施設介護サービス利用者向けに全国統一の補助（クーポン配布）制度を創設することが発表されるなど、市場環境の整備・拡充が急速に進んでいる<sup>3</sup>。

### 2. 中国へ進出している県内企業への支援

表 1 のとおり、在宅介護用電動ベッド国内シェア第 2 位のプラッツ（大野城市）、創業 133 年の歴史を持つアサヒシューズ（久留米市）、建築設計を手掛ける

<sup>1</sup> 国連世界人口推計（2024 年）(<https://population.un.org/wpp>)

<sup>2</sup> iiMedia Research 「2024～2025 年中国シルバー経済投資の見通しに関する分析報告書」(<https://report.iimedia.cn/repo3-0/43605.html>)

<sup>3</sup> 中国中央人民政府ウェブサイト ([https://www.gov.cn/zhengce/202501/content\\_6996775.htm](https://www.gov.cn/zhengce/202501/content_6996775.htm))  
([https://www.gov.cn/zhengce/202507/content\\_7033336.htm](https://www.gov.cn/zhengce/202507/content_7033336.htm))

志賀設計（福岡市）や県内で介護施設 7 施設を運営するケアリング（福岡市）など、在宅で利用できる製品から介護施設の建築設計、運営に関するコンサルティングまで、様々な製品・サービスを提供する福岡県企業が中国で事業を展開している。

【表1】中国へ進出している主な県内企業

	企業名（略称）	展開している主な製品・サービス
1	プラッツ	介護用電動ベッド
2	アサヒシューズ	転倒予防機能を有する靴
3	イケヒコ	い草製床ずれ予防マット
4	志賀設計	医療・福祉施設の建築設計
5	貞苅椅子製作所	高齢者用椅子
6	ケアリング	杖等の福祉用具、顧問サービス
7	長潤国際貿易	県産養老関連製品等の輸出

当事務所では、これら県内企業の販路拡大を支援するため、地方政府と協力し、各地で企業交流会や商談会を実施している。これまでに、陝西省西安市、江西省南昌市で商談会を実施し現地企業計約 140 社との交流の機会を創出した。

また、商談会に参加した県内企業からは「地方政府が紹介する地元企業であれば、安心して商談に臨める」「今後も同様の商談会を開催してほしい」との声が寄せられている。

さらに、これらの企業が中国での展示会に参加する場合には、地元政府に対し域内企業への周知協力を依頼するなど、行政機関とのネットワークを生かした支援を行っている。



（写真）上海国際福祉機器展での福岡県ブースの様子（6月）

上海、北京、南京で実施された養老関係の展示会では、計約 2 万 8 千人が県内企業のブースを訪れ、会期中に約 800 件の商談が行われた。

### 3. 今後の可能性

アサヒシューズの現地代理店によれば、政府方針の浸透により需要が高まっており、転倒予防機能付きシューズ「快步主義」の 2025 年上半期における中国での売上は、前年同期比で約 10 倍に達し、今後も拡大が見込まれるという。また、長潤国際貿易（福岡市）は、2025 年に北京、上海、山東省、内モンゴルで高齢者向け製品の展示施設を開設し、さらに、来年中には全国各地で 100 か所以上の展示施設を新設する計画だと話す。

中国の高齢者向け産業は急成長へ向かう大きな転換点を迎えており、市場ニーズを捉えることができれば、事業の大きな成長が期待できる。

当事務所では、日中関係の動向が与える影響を注視しつつ、高齢者向け製品・サービスの海外展開を目指す県内企業への支援に取り組んでいく。ご関心があれば、お気軽にご相談いただきたい。

※為替レート 1 元＝21 円